

# 議会だより

平成25年  
8月5日発行

## No.71

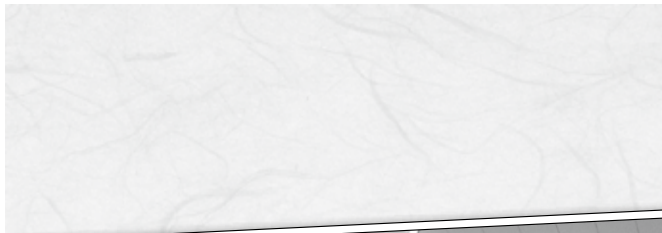
●発行／宮津市議会

●編集／議会情報化等特別委員会

TEL 0772-45-1639

<http://www.city.miyazukyoto.jp/~gikai/>

● 議長交際費	15
● 政務調査費	15
● 議会報告会	14
● 一般質問	8
● 議員表彰・議会の構成	7
● 意見書	5
● 補正予算・条例改正Q&A	2
● 6月定例会のうごき	2



お父さんによる野球教室  
(栗田幼稚園)

海開き 吉津小による宮津節



**表紙写真を募集します!**

くわしくは裏表紙をご覧ください。

# 6月定例会のうごき

6月定例会は、5月29日から6月27日までの30日間開催されました。

初日に、人事案件1件、条例制定等3件、補正予算2件が提案されました。21日に補正予算の追加提案を受け、会期を6日間延長、さらに最終日に条例改正3件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

また、「宮津マルシェ推進事業」に係る予算執行の決議を全会一致で可決、意見書は、可決1件、否決1件となりました。一般質問は、6日、7日に13人の議員が行いました。

最終日には、常任委員会正副委員長の改選をし、新体制となりました。

なお、今定例会の傍聴者は39人でした。



## 平成25年6月 補正予算、条例改正等審査Q&A

6月11日、24日、27日、各常任委員会で平成25年補正予算及び条例改正等の審査を行いました。その概要は次のとおりです。

**意見**：委員会が市に出した意見

**経過意見**：審査の過程で委員から出た意見

### 補正予算

#### 一般会計

##### 総務文教委員会

##### コミュニティ助成事業に

650万円

自治会活動を支援することにより、地域社会の健全な発展を図るもの。

##### Q 修繕も対象になるのか？

A 制度的にはコミュニティ活動に直接必要な設備の整備となり、100万円から250万円までで修繕も可能となる。

##### コミュニティセンター助成事業に 980万円

つつしが丘自治会の集会所建設整備に支援するもの。

##### Q 補助率が100分の60であるが、通常なら100分の30の補助率である。30%が市長特認による上乗せになるのか？

A コミュニティセンター助成はこれまで申請したことがなく、今回特別に申請した。市長特認分は、定住環境整備への支援と分譲地の販売促進の必要性から

判断した。

##### 街路灯等LED化事業

(債務負担行為)に

1億450万円

平成24年度3月補正で議決したLED街路灯等導入調査事業の完了後、10年間のリース方式で(維持管理費を含む)LED照明にリニューアルする工事を実施するもの。

##### 経過意見

事業目的・目標の実現のためには市内全域で取り組むべき事業であり、自治会等に対し、より丁寧な説明・対応を行い、市内全域で街路灯等のLED化に取り組まれるよう努められたい。

##### 地域の芸能環境づくり事業に 190万円

交響楽団の生演奏を体感し、クラシック音楽を身近に感じ文化の振興を図るもので、市民実践活動センターが行う文化事業を支援するもの。

##### 公民館活動連携推進事業に 140万円

上宮津地区公民館が取り組む地域連携・協働による社会教育活性化モデル事業を展開するもの。

##### 消防施設整備事業に 2550万円

消防団に配備の車両等が老朽化する中で、府中分団第2部(溝尻)配備の消防ポンプ自動車と養老分団第2部(長江)配備の小型動力ポンプ付積載車を更新し、円滑な消防団活動を確保するもの。

##### 不燃物処理場管理運営事業に 320万円

南部不燃物処理場の薬品定量供給機の取替え工事を行うもの。

##### し尿処理施設管理運営事業に 140万円

雑排水移送ポンプの取替え工事を行うもの。

##### 小学校施設耐震化事業に 3億2180万円

学校耐震化を推進するため、吉津小学校の校舎耐震補強等の工事を行うもの。

##### Q 校舎の耐震補強等工事の前に非構造部材の耐震化工事が既に予算化されているのは、順序としておかしいのではないかと？

A 平成24年度補正予算の中で耐震補強等工事の実施設計を行い、順次工事を進めていく中で、並行して非構造部材の耐震化工

事も実施していく。

**Q** 仮設校舎の設置はリースとなっているが、市内業者に分離発注する考えはなかったのか？

**A** 経費をできるだけ安くしていきたいという考えから、メーカーと直接契約したい。

**意見**

十分な説明機会を持って、地元住民納得の上で進められたい。

**小学校、中学校教育振興事業に 1240万円**

小・中学校の理科・算数等の備品購入と電子機能付ボードを配布

**6月補正予算**

**補正総額 1億8,436万円**

**主な内容**

**一般会計**

- ◆教育の充実と人材育成  
「青島広志のおしゃべりクラシック2013」開催補助金に **190万円**  
公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラムの展開に **140万円**
- ◆暮らしの基盤の整備  
消防団への防火服の配備に **100万円**
- ◆市民との協働  
コミュニティ活動への支援に(由良宮本・瀧馬・大垣・天橋 自治会) **950万円**  
コミュニティセンター建設への助成(つつじが丘自治会) **980万円**  
小型除雪機の購入に **640万円**  
天橋立まちづくり計画策定への追加支援に **200万円**

**特別会計**

- ◆土地建物造成事業特別会計  
25年度歳入を24年度歳入不足へ充当 **1億5,286万円**

**6月補正予算(追加提案分)**

**補正総額 4億2,495万円**

**主な内容**

**一般会計**

- ◆観光を基軸とした産業振興  
農業用排水路等の生産基盤整備に **650万円**  
栗田(中津)漁港棧橋の改修に **150万円**
- ◆環境保全と生活環境の向上  
不燃物処理場設備の改修に **320万円**  
し尿処理施設設備の改修に **140万円**  
街なみ環境の整備に(金屋谷線的美装化等) **393万円**
- ◆教育の充実と人材育成  
吉津小学校の校舎耐震補強工事等の実施に **3億2,180万円**  
小・中学校の理科・算数等備品の購入に **1,240万円**
- ◆健康増進と福祉の推進  
子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズの調査と分析に **200万円**  
公立保育所の改修に **480万円**  
風しん予防ワクチン接種に係る緊急支援に **350万円**
- ◆暮らしの基盤の整備  
安心・安全で快適な生活環境づくりのための道路の整備に **1,890万円**  
都市計画道路の見直しに **120万円**  
浜町排水機場の設備の改修に **600万円**  
鳥が尾団地の水洗化工事に **167万円**  
公園施設の改修に **1,350万円**  
消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付積載車の更新に **2,550万円**

するもの。



**産業建設福祉委員会**

**地域一体型除雪事業に 640万円**

地域と一体となって除雪を進めていくための小型除雪機5台分の購入経費。

**Q** 1台分が約130万円であるが、市内でもこれくらいのもが必要か？

**A** 安価なものは除雪幅も狭く、除雪能力が低いため、地元からも能力の高いものをとという要望があり、近年はこのクラスのものになっている。

**海の京都・天橋立まちづくり事業に 200万円**

魅力ある観光拠点としての整備を図り、地域経済の活性化と持続可能な地域づくりを推進することを目的とするもので、文珠地区民からなる「文珠町づくり委員会」が取り組む計画策定に必要な。

**Q** 何が主たるもので一番費用を使うものは何か？

**A** イメージパースの作成委託費用が一番大きなものである。当初は海の京都構想と連動した基本的なまちづくりの指針という

**意見**

追加の内容は、緑化の調査、特産品の試作、案内看板のデザイン統一化なども含め、山門前、茶屋町通りのイメージパースも作成する。

これまでに策定された計画や協議されてきたことが実行に至っていないものもあり、実行可能な計画を策定して、平成27年度のタ

グットイヤーに向かって実現するため努力されたい。

### 子ども・子育て支援事業計画策定準備事業に

2000万円

子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、ニーズ調査等を実施するもの。就学前児童、就学児童の保護者約1000人を対象とした子育て支援事業利用意向等の調査で業者へ委託する。

**Q** ニーズ調査の委託はどこにするのか、また職員でできるのではないかと。

**A** 市内に限らず実績のある業者を何社か指名入札する予定。調査は、職員でもアンケートの発送、回収等できないことはないが、分析までしようと思うと相当な事務量と費用がかかる。委託業者には分析ソフトもつくってもらえる予定である。

**Q** 市内でも認定こども園についていくつかの地区、場所、施設があるのか。

**A** 設置される子ども・子育て会議の中で今後の宮津市の幼保連携のあり方を議論していきたい。

### 保育所整備事業に

480万円

日置保育所の屋根を改修するもの。



日置保育所

### 風しん予防接種緊急助成事業に

350万円

風しんの流行に伴う緊急母子保健対策として、ワクチン接種を緊急的に支援するもの。

**Q** ワクチンは市が仕入れるのか、接種料金は統一されないのか。

**A** ワクチンは医療機関が必要に応じて仕入れ、接種料金は、任意接種となり、各医療機関が価格を設定するため統一ではない。

### 元気な里づくり基盤整備事業に

650万円

農業用の用水・排水も兼ねている水路の老朽化や機能不足等による支障を解決するための整備費。

**Q** 水路の整備について、宮村、山中、落山、松原の4箇所以外にも要望があるのではないかと。

**A** 他の自治会からも要望はあるが、この4箇所に限定しているのは緊急性と防災上の観点からである。

### 漁港管理事業に

150万円

栗田（中津）漁港にある老朽化した桟橋の改修のための整備費。

### 道路新設改良事業に

1890万円

安心・安全で快適な生活環境づくりのための道路整備費。

鶴賀波路線 1350万円  
浜垣中瀬線 300万円  
尼ヶ谷線 190万円他

**Q** 通学路の安全対策について、対策をしなければならぬ箇所の修繕は全部済んだのか。

**A** 4箇所は対策済み、残り3箇所は早急に調整実施する予定である。

### 公園改修事業に

1350万円

府中公園の便所水洗化工事、駐車スペース設置 540万円  
滝上公園の展望台屋根修復、東屋設置等改修経費 810万円

### 市営住宅環境整備事業に

167万円

鳥が尾団地の水洗化工事の追加経費。

## 特別会計

### 総務文教委員会

#### 土地建物造成事業

#### 線路充用に

1億5285万円

平成24年度の赤字分に平成25年度の歳入を充当するもの。

## 条例制定等

### 総務文教委員会

#### 市税条例の一部改正

「地方税法の一部を改正する法律」及び「所得税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、市税条例の一部を改めるもの。個人市

民税に係る住宅ローン控除を見直すものでは、現行の特例措置を平成29年末まで延長し、平成26年4月から29年12月までの間で、消費税率が8%又は10%に引き上げられた後に住宅を取得し、居住の用に供した場合、個人市民税住宅ローン控除限度額を、所得税課税総所得金額の4.2%に引き上げ、その限度額を8万1900円とするもの。  
その他6点の改正。

### 国民健康保険税条例の一部改正

「地方税法の一部を改正する法律」の公布に伴い、国保税の課税の特例措置等について所要の改正を行うもの。東日本大震災により居住の用に供することができなくなった家屋の敷地を譲渡した場合の現行の特例措置について、適用対象に当該家屋に居住していた相続人を加えるもの。

### 一般職職員の給与に関する条例の一部改正

東日本大震災の復旧・復興、国の厳しい財政状況に鑑みて行われた国家公務員の給与減額措置に伴い、地方公務員にも国に準じた減額措置を速やかに講ずるよう、要

請されたこと等を踏まえ、給与を減額することとして条例改正を行うもの。

京都府、近隣市の状況などを勘案し、その減額率を、室長級は現行10%を12%に、副室長級は8%を9.5%に、係長級以下は5%を6%に、若年層職員は4%を4.5%にするものであり、時間外勤務手当等にも、給料減額率の上乗せ分を計算の基礎に反映する。

### 市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正

国の状況等を踏まえる中で、市長、副市長ともに、現行の給料の減額率に更に3%を上乗せし、市長の給料の減額率を28%とし、副市長の減額率を23%とするもの。

### 教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条例に関する条例の一部改正

教育長の現行の給料の減額率に更に3%を上乗せし、減額率を23%とするもの。

### 産業建設福祉委員会

#### 宮津市子ども・子育て会議条例の制定

昨年8月に、「子ども・子育て関連3法」が成立し、平成27年4月から子ども・子育て支援の新たな制度がスタートするにあたり、制度の円滑な実施に向けて、子ども子育て支援法に基づき、「宮津市子ども・子育て会議」を設置するもの。

**Q** 児童福祉、幼児教育両分野に渡るが、健康福祉室だけで所掌事務を進めていくのか？

**A** 教育委員会事務局総括室とともに連携を図りながら協議し進めていく。

**Q** 施設の利用定員の設定も、子ども・子育て会議の中で審議されるのか？

**A** まずは、子育てニーズを調査し、現状の利用実態や将来的なニーズ量を見越し、実情に応じた定員設定をしていきたい。



### 意見書

#### 「慰安婦」問題の解決を求める意見書

議決結果 可決 議決状況 賛成多数

政府は、慰安婦問題に関して、いわゆる「河野談話」や「アジア女性基金」などによる取組みを重ねてきており、多くの課題は解決されていると考えられてきた。しかし、被害女性自身からは受け入れられるには至っておらず、新たに被害の声も出てきており、また国際社会から指摘も続いている。

そのことを踏まえ、被害女性に対し再びその声を聞き、調査分析を進め、必要に応じ理解ある補償を行い、名誉と尊厳を回復することは、いまだ日本政府に残された責務と言える。また、被害女性は既に高齢で訃報が相次ぐなどの状況があるため、人道上からも、政府による時間的に早急な対応が必要である。

ついでに、国におかれては、これらの状況を鑑み、戦後67年を経たこの時に、旧日本軍による「慰安婦」問題の解決を図るため、早急に再度追加調査を行い、必要に応じ、謝罪や補償及び名誉回復の措置を誠実に、歴史の事実と教訓を次世代への継承に取り組みことを実行するよう、強く要望する。

### 意見書

#### 大飯原発の稼働中止を求める意見書

議決結果 否決 議決状況 賛成少数

地震と津波によって崩壊した福島原子力発電所は、現状把握はもちろなく、事故の原因さえわからないうまま放射能を生成し続けている。汚染水の処理や除染した土の処理さえ、展望もなく放置されているのが現状だ。

「原子力発電所」は一日事故が起これば、人の手で収束させるのが難しいことをこの事故が証明している。

また、日本原子力発電所敦賀原発の敷地内調査していた原子力規制委員会の調査団は、2号機の直下にある「D-1破砕帯」を活断層であると結論づけた。国は活断層の上に原子力発電の施設を置くことを認めていない。

現在、唯一稼働している大飯原発も近くの熊川断層など、断層が動く危険性をはらんでいる。最近起きた淡路島の地震も今まで知られていなかった活断層が動き、「阪神淡路大震災」の活断層の先で起きていた。

原発の安全神話が完全に崩壊したことにより、高浜原発から30km圏内にある宮津市民は、日々原子力発電所に対し不安を覚えている。

事故後、原発に頼らなくても国民の節電等で電力不足を乗り越えることができた。よって国におかれては、福島原発の過酷事故を教訓に、速やかに大飯原発稼働停止を行われるよう求めるもの。

## 「宮津マルシェ推進事業」に係る予算執行の決議

当事業においては、宮津マルシェの全体像や「道の駅」の基礎的部分の配置計画が示されない中、また当初予算（案）によるソフト部分が構築されておらず、基本計画や本提案に係る十分な審査をする材料も乏しく時間的な余裕もない状況により、『議第 46 号 平成 24 年度宮津市一般会計補正予算（第 7 号）における「宮津マルシェ推進事業」に係る予算執行留保の附帯決議』を可決したところである。

こうした状況の中、5月30日の総務文教委員会において、宮津マルシェ整備に向けた計画（案）が示され、この案をもとに関連事業者等の意見を聴取反映させたいとの説明を受けた。また、6月11日、12日での委員会審査では、当事業のビジターセンター・駐車場等の第1ステージを進め、商業施設エリアの第2ステージ、公園・海等の利活用の第3ステージの事業実施については、事業計画が固まっているものではなく、その都度、予算や計画提案等を行うものであり、同時に地域住民や関連事業者、議会の意見等を取り入れ、誠意をもって事業を進めていくとの考えが示された。

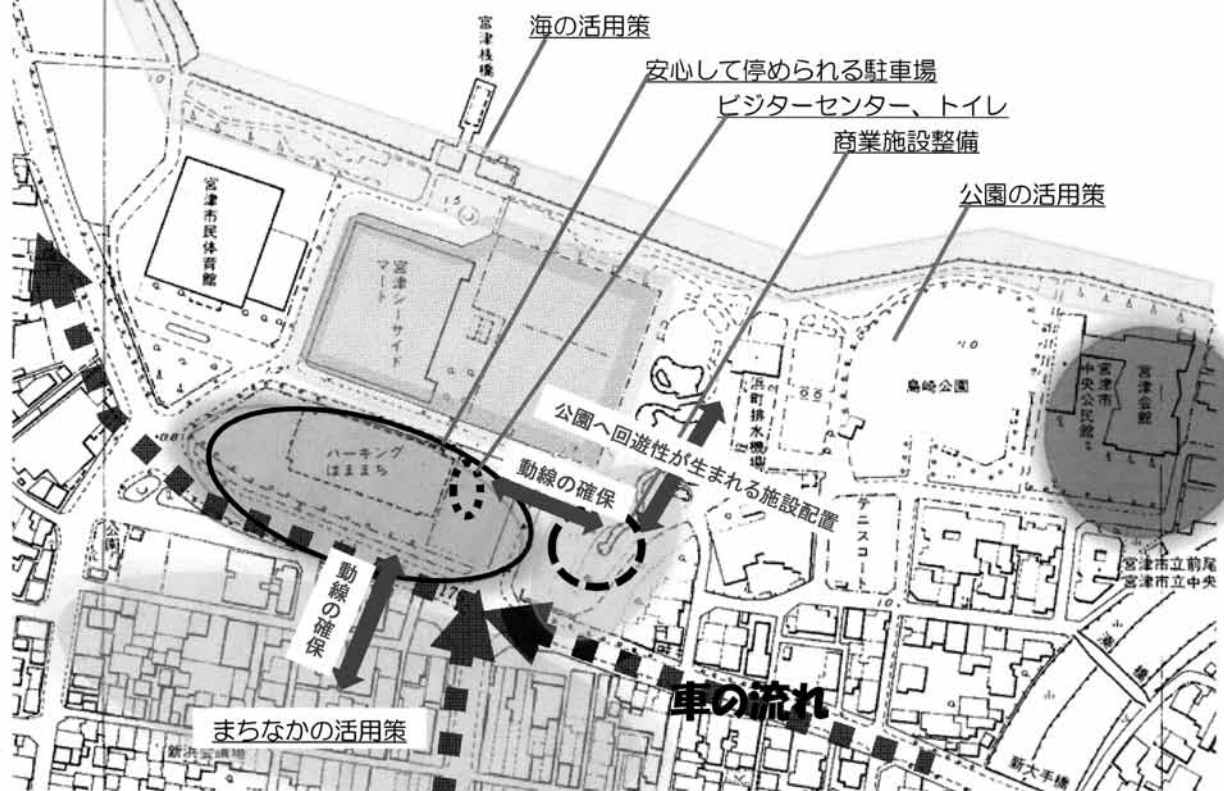
さらに、18日の委員会においては、市長から附帯決議の2項目である「①平成25年度宮津市一般会計予算で計上しているソフト事業により十分な検討を行い、また、地域住民や関連業者等との協議に基づき、その意見も反映させた上で事業実施すること。②事業実施にあたっては、進捗状況等を適宜議会に報告し、議会の意見等を聴取すること。」を真摯に受け止め、誠意をもって事業の実施をしていくことが示された。

このような状況を踏まえ、議会として上記の内容を受け止めるが、平成26年度の京都縦貫自動車道全線開通や平成28年度の鳥取豊岡宮津自動車道の大宮までの延伸に向け、宮津再生の今後を左右する非常に重要な事業であるが故に、市民や議会が注視している。また、ソフト事業面は一定示されたが、行政で進める部分と民間で行う部分が見えてこないため、その役割をしっかりと組み立てた上で、本事業に係る最終的な財源を示されるとともに、行政主導ではなく主体的に動く組織等を作り、今後、想定される財政の見通しを長期的に勘案し、現実性のある形で事業を計画し進めていただくことを付し、「宮津マルシェ推進事業」に係る予算執行の決議とする。

平成25年 6月27日

宮津市議会

## ～浜町周辺地域の機能配置(案)～



# 5月臨時会のひびき

5月10日に臨時会が開催され、宮津与謝環境組合議会議員を選出しました。

## 宮津与謝環境組合議会議員

小林 宣明  
木内 利明  
松本 隆  
谷口 喜弘

# 永年勤続議員表彰

平成25年5月22日に東京で開催された第89回全国市議会議長会定期総会において、次のとおり表彰されました。

【正副議長在職4年以上】

木内 利明

【議員在職10年以上】

北 仲 篤

谷 口 喜弘

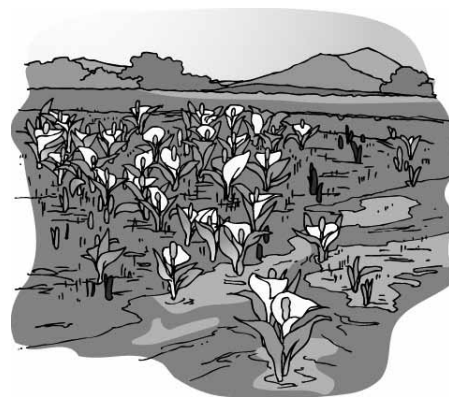
## 議会の構成

特別委員会	常任委員会		議会運営委員会	委員会名	委員名	所管事項
	議会情報化等特別委員会	産業建設福祉委員会				
谷口喜弘 坂根栄六 松原護 嶋田茂雄	松浦登美義 安達稔 橋本俊次 河原末彦	松本隆 松原護 北仲篤 小林宣明	長林三代 橋本俊次 北仲篤	◎委員長 ◎委員 ◇副委員長	◎委員長 ◎委員 ◇副委員長	・議会広報の編集・発行及び調査・研究に関する事項について ・健康福祉室、産業振興室、建設室及び農業委員会の所管に属する事項 ・企画総務室、自立循環型経済社会推進室、財務室、市民室、出納管理室及び教育委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
松本隆 長林三代 河原末彦	谷口喜弘	徳本良孝 長林三代 小田彰彦 坂根栄六	松本隆	◎委員長 ◎委員 ◇副委員長	◎委員長 ◎委員 ◇副委員長	・本会議の運営について ・次期議会の日程について

## 常任委員会 正副委員長の交代 (平成25年6月27日付)

総務文教委員会  
委員長 小林 宣明  
副委員長 坂根 栄六

産業建設福祉委員会  
委員長 河原 末彦  
副委員長 嶋田 茂雄



# 一 般 質 問

## 市政に対する質問・提言 ここが聞きたい!!

6月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

### 子宮頸癌予防ワクチンは副反応リスクが高い

無会派 坂根 栄 六

#### 答弁要旨

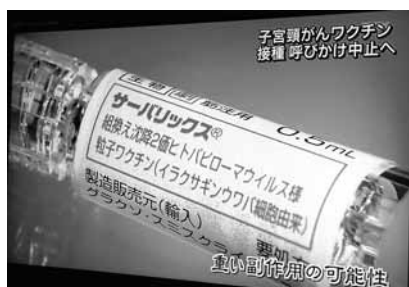
#### 国の中止等の措置がない限り継続する

**質問** 今年3月末までの子宮頸癌予防ワクチン接種の副反応報告数は1968件にもおよび、全国子宮頸癌ワクチン被害者連絡会の悲痛な訴えが新聞・報道等で取り上げられている。HPV(ヒトパピローマウイルス)はありふれたウイルスで、ほとんどが自然排出され、癌が発生しても適切な治療により治癒率は概ね100%であると日本産婦人科腫瘍

**答弁** 学会のガイドラインにある。(国の厚生労働委員会答弁)。また、癌の発生人数は10万人当たり7人で、ワクチン(サーバリックス)の重篤な副反応者数は10万人当たり28・7人であることから癌の発生人数の割合より、副反応者数の割合が多い。故に、副反応のリスクは高く、予防検診を推奨すべきであり、該当者に十分な情報を提供して欲しい。宮津

市における予防接種率、予防検診率、副反応者の有無など状況や見解を伺う。

**答弁** 平成24年度接種者数は、対象者217人の内104人。検診状況は、対象者5442人の内受診者728人、受診率24%。副反応報告は平成22年度から現在までない。予防ワクチンは、該当する型の感染予防効果が認められ、類似する型への有効性も報告されているが、一方で、ワクチンは生体にとって異物であることから、接種による副



子宮頸がん予防ワクチン「サーバリックス」

反応が起こることがあるとされている。国の予防接種法に基づくものであり、国において接種の中止等の措置がない限り継続する。

### 施策の実施に係る計画的財政運営は？

宮津新生会 徳本 良 孝

#### 答弁要旨

#### 社会資本整備総合交付金など制度を活用する

**質問** 社会資本整備事業の実施について、国の支援制度が個別補助金から「社会資本整備総合交付金」による計画全体を評価し支援する制度に変わる中、同交付金の事業採択を受ける為に必要な計画とは「みやつビジョン」なのか「アクションプログラム」なのか別の計画なのか尋ねる。同交付金に係る計画について、準備段階から進め方、進捗状況、事後評価について議



中町から再開発用地を望む

会に対する報告や説明はどの

ように考えているのか尋ねる。近年の国庫補助事業の実施状況と3月定例会における「予算の一部執行停止を求める附帯決議」を踏まえ、計画途中の評価等についても事業評価等を事業実施前と実施後と比較検討し詳細な説明を求めぬ。

**答弁** 「社会資本整備総合交付金」制度は地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金制度である。総合交付金の採択に係る計画とは「みやつビジョン」や「アク

ションプログラム」ではなく、社会資本整備の分野ごとに国が定める「整備計画」である。事業実施状況については個別事業単位で予算・決算等で議会に説明している。政策・施策の立案・実施においては事業間の優先順位づけと、計画性のある財政運営が非常に大切のご意見をいただいた。本市では市民生活に關連深い各種の事業について弾力的な運用ができる「社会資本整備総合交付金」や「公債費管理プログラム」により計画性のある財政運営を念頭に取り組む。



# 北部医療センター・ リハビリテーションの充実

蒼風会 嶋田茂雄

## 答弁要旨 リハビリ機能の充実に向け要望する

**質問** 府立医大付属北部医療センター（与謝の海病院）のリハビリテーション科は、現在、スタッフは6人体制で入院患者や通院患者のリハビリを行っているが、全患者に対応しきれしていない。当病院は急性期リハビリが中心で、整形外科の骨折や、脳出血、脳梗塞を発症し麻痺が出現した患者を中心に身体機能改善に向けて取り組んでいる。急性期リハビリから体制強化を図り、退院後の回復期リハビリまで充実した取り組みを展開し、地域医療体制の充実、医師不足の解消はもちろんのこと、リハビリテーション医療の強化が、これからの時代には非とも必要である。京都府・医療関係等に対して強く要望されたい。

**答弁** 新体制の病院は、「診療機能の充実・強化」「医師派遣機能等の充実・強化」「更なる地域連携の推進」を大きな柱とされ、特に診療機能では「総合診療科」の新設、救急医療機能の充実による急性期患者への医療体制の強化、府立医大病院との連携による高度・専門医療の提携等、府北部地域の中核病院として、更なる

機能充実が図られるものと考えている。北部医療センターの整備に係る基本構想にリハビリテーション機能等の充実が掲げられ、更に中長期的な取り組みとして、急性期リハビリの機能充実（新棟建設）等が掲げられており、少しでも早く充実されるよう、京都府並びに北部医療センターに要望していく。



北部医療センターのリハビリ室

### その他の質問

・学校再編について

# 高齢者の見守り活動に関する 協定制度導入を

市民連合クラブ 河原末彦

## 答弁要旨 前向きに検討してまいりたい

**質問** 当市の一人暮らしの高齢者世帯は約1000世帯で、今後ますます増加傾向にある。高齢者の心身の変化は、いつ襲ってくるかわからない。急病や転倒による骨折で寝込むこともある。高齢者の見守り活動をより強化していくことが必要であり、「高齢者と接する機会が多い事業者の方が、日頃の業務中に高齢者の異変に気付いた場合に、市へ連絡し必要な支援が図られるよう連携していく協定」を、結んでいくことを提案するがいかがか。

**答弁** 日々の安否確認と、安否確認を通じた早期の問題発見、対応が必要と考えている。より一層、できるだけ多くの人々が高齢者を見守り、支え合う仕組みづくりが重要であり、議員提案の事業所との連携協定については、前向きに検討してまいりたい。

## 脱原発を視野に今夏の節電対策を！

**質問** 昨年は「計画停電の可能性があり得る」とのひっ迫感から15%以上の節電目標で取り組んだ結果、電力供給実績は「大飯原発が再稼働し



宅配サービスにおける安否確認

ていなくても、計画停電のレベルに至る状況ではなかった。」と報告されている。脱原発を表明している当市として、今夏の節電対策をどう進めるのか。

**答弁** 昨年同様、原発稼働が無い場合を想定して、市役所はもとより、市民、事業者の皆様と一緒に、しっかりと取り組み、成果を築いていかなければならないと考えている。

# 新生栗田小学校の

## 経過報告について

安寿会 松原 護

### 答弁要旨 元気に仲良く学校生活を送っている

**質問** 本年4月から由良小学校が栗田小学校に統合され、新生栗田小学校がスタートしたが、学校行事・授業等児童同士の交流について、まだ2カ月程度しか経過していないが、新しい環境で問題になるような事象・経過等、また、由良小学校の時複式学級児童のメリット・デメリットがあれば併せて報告されたい。

**答弁** 栗田小学校は由良児童30名を含む120名体制で新年度をスタートした。事前の準備として昨年2回の全校交流会のほか各学年での交流学習を実施した。また、由良地区の



栗田小5、6年生による砂の造形

子どもたちの不安感を除くため、由良小学校に勤務していた教員5名を栗田小学校に異動させた。複式学級児童については多くの同学年の友達と一緒に学習できると喜んでいてる。

### 地産地消(商)の推奨を

**質問** 宮津市内の学校給食、特養等入所施設の地産地消(商)についての確な地域内消費の促進が行われているのか。現在の各施設については、地元産の米・野菜・果物は当然のことであるが、宮津の魚・水産加工品(練り製品)・かわ・かまぼこ・てんぷら)の消費が少なく思われるので売り込みを強力に押し進められたい。

**答弁** 市内の全小学校では、毎月19日を「みやづ食の日」と定め、地元産食材を使用した給食やその食材を教材にした学習を行うとともに、週4日の米飯給食で宮津産コシヒカリを使用している。福祉施設等については宮津産の農林水産物の使用をお願いしており、今後も協議を深めていく。

### その他の質問

・地籍調査について

# 24時間見守る

## 介護看護サービスの充実を

公明党 松本 隆

### 答弁要旨 介護は一定確保、看護の充実を事業所と検討

**質問** 要介護者の在宅生活を支援するため、厚生労働省は昨年4月から、介護制度として24時間の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が施行された。現在、1年が経過する中、利用できる地域が京都府北部において福知山市内の福祉施設が取り組みを進めている。本市においても、24時間介護サービスは在宅介護に必要で有意義な事業である。地域の実態に適した柔軟な運用が求められると思うが尋ねる。

**答弁** 日中・夜間を通じた訪問介護と看護サービスの提供は、在宅生活を支える重要なサービスである。本市においては、5月に地域密着型サービスとして夜間対応型訪問介護の事業所が新たに開設され、夜間に対応できる訪問介護は一定確保できたものと考ええる。また、訪問看護については、訪問看護ステーションにおいて、日中の訪問看護が実施されているが、この利用者に限り緊急時については夜間も対応していただいている。今後、夜間における訪問介護看護のニーズを把握し、事業者と一緒に検討していく。

### 公共墓地の増設について

**質問** 現在、公共墓地の使用申請をしても全区画が埋まっている。利用ニーズに対応し、用地スペースを調査し墓地区画の増設を考えてはどうか。

**答弁** 昨年6月以降、空き区画がない状況が続き新規申し込みが受けられない状況にある。今後、必要と見込まれる区画数、施設内の残地活用の可能性等を含め十分に検討していく。



公共墓地に係る用地

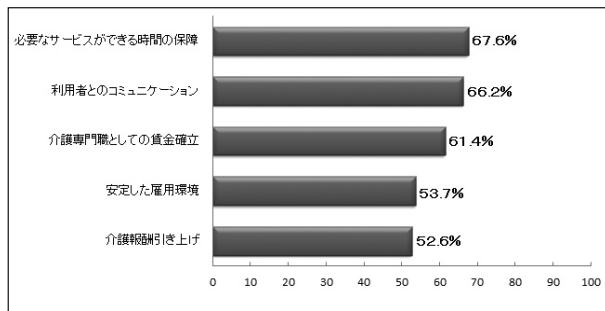
# 介護保険制度の本質的課題は何か

日本共産党 宇都宮 和子

## 【答弁要旨】 要介護者増加で人材確保・保険料負担増が課題

**【質問】**「介護の社会化」として導入された介護保険は、その趣旨とは逆に、今は「在宅強化路線」だ。自民・公明政権の社会保障費削減強化策は、保険料の値上げ、サービスの縮小、介護報酬の改悪を繰り返した。4年度の改定が行われ1年。「ヘルパーの時間が減らされ食事作りに困っている」こと、深刻な老老介護の実態、両親の介護のため夫婦とも仕事を辞めた事例など、介護を取り巻く状況は深刻だ。また療養病床削減で「病床」を追い出された「介護難民」の増加や、劣悪な労働条件で、ヘルパーの不足が続いている。この制度の本質的課題は何か。

**【答弁】** 団塊の世代が高齢化し要介護者の増加で人材の確保、保険料の負担増が課題。更なる介護基盤の確保のため、1 特別養護老人ホーム整備、小規模多機能型居宅介護施設の整備を進めるが、介護職員賃金水準が低く人材確保に抜本的な対策が必要。またサービス充実に伴い保険料上昇を大変懸念する。市長会から国へ、恒久的整備支援、職員の待遇改善、介護保険国庫負担の引き上げを



ヘルパーアンケートから

要望した。また介護予防や健康作りに取り組み、北部地域包括支援センターを今秋に設置予定。

## 【質問】 従軍慰安婦と橋下発言について

**【答弁】** 「従軍慰安婦は必要だった」との橋下大阪市長発言は、アメリカ国務省も批判。市長はごう思つか。

**【答弁】** 政治家は、国民感情を傷つけ、国益を損ねる発言は慎むべき。

# 奈良海岸保全工事の これからの対策は？

宮津新生会 谷口 喜弘

## 【答弁要旨】 あと10力所、平成28年度終了予定

**【質問】** 奈良海岸は、地滑り対策として、山留め工事等行われているが、危険性をはらみ往來の心配がある。これからの対策は。

**【答弁】** 京都府の調査では、奈良海岸は風化花崗岩地帯で、山側、海側とも法面が脆弱で落石や崩壊等の危険性が高く法面対策が必要と判断され、異常気象時通行規制区間の約3kmの区間内の30力所で、対策工事を実施、通過交通の安全性の向上を図るとされている。対策期間は平成17年度から平成28年度の予定で進められており、既に30力所中20力所の対策工事が完了したと伺っている。

## 【質問】 由良海岸線の今後の事業について

**【答弁】** 府要望「由良海岸保全対策の早期実施について」の海岸浸食に対する人工リーフ形状変更や養浜工事、由良川河口問題の進捗状況と、更なる緊急かつ抜本的対策要望が必要と思われるが伺う。

**【答弁】** 人工リーフ形状変更と隣接する深掘れ箇所埋め戻し、離岸堤嵩上げ工事の進捗状況は、長さ2000mに対し約70m程度進み、対策をと

る前の平成22年度に比べ養浜工事の土量が減少している。由良川河口問題は由良川水系河川整備計画(案)で下流由良地区の整備計画も盛り込まれ、河口についても「砂州の動態、制御等に関する調査・検討を行い結果を踏まえて砂州を適切に維持管理するための必要に応じた対策を実施すること記載がある。本市は計画(案)の意見照会において河口の砂州対策を早期に実施されるよう意見を附した。



奈良海岸

# JA京都水稻育苗センターの

## 再開について

蒼風会 小林宣明

**答弁要旨** 重要な施設であり、施設は再開されるべし

**質問** 水稻育苗センターは、水稻の

健苗育成と生産の組織化、受委託の推進を図ることを目的として、平成4年度に整備され、宮津全域に水稻苗の供給を行っているが、4月8日の火災により施設機能が失われ、供給ができなくなっている。水稻生産者から一日も早い再開を望む意見が出ており農業委員会は、JA京都に再開を要請している。そこで次の2点を伺う。

①農業を推進していく宮津市として育苗センターの再開に対する市の考え方は。

②JA京都に対する協議・対応の状況は。

**答弁** 本市農業の基幹作物は水稻であり、その苗を育成・供給する当該施設は、農家の皆様と同様に重要な施設であると認識しており、施設は再開されるべしと考えている。協議・対応の状況は、再開に向けた協議を5月9日に行ったが、JA京都では育苗作業の最盛期で、苗の確保に対応している最中で組織内では、協議が進んでいない。今後は、農業関係団体と一緒に、再開に向けて要望・

協議を行っていく。

**質問** 学校の屋外運動場の芝生化について

**質問** 宮津小学校校舎改築等検討委員会の設置を行い、改築コンセプトや外観デザイン等の検討が実施されているが、改築整備に伴い検討内容に屋外運動場の芝生化は含まれるのか。

**答弁** 屋外運動場の芝生化を検討項目に加え、委員の意見を求めていく。



屋外運動場の芝生化

# 医療費削減と経営の安定化を

市民連合クラブ 北仲 篤

**答弁要旨** まずは医療費削減に取り組むことが重要

**質問** 国民健康保険税が高くなる最大の要因は医療費の高騰にあり、市が取り組むべき最優先課題は医療費の抑制である。制度の見直しや財政負担等、今日までの取り組みは承知しているが、医療費の増加と財政負担力が低下する少子高齢化の進行という構造的な問題に直面している現在、経営の安定化のためには、小規模自治体である市が保険者となる現行制度から府が保険者となる広域化への移行が必要と考える。そこで①国民健康保険の広域化についての見通し②過去5年間の決算内容を踏まえた上での、今後の国保特別会計の財政運営についての見通しと基本的な考え方③医療費削減の取り組みとその成果と課題④レセプトのデータ分析の活用について問う。

**答弁** ①広域化による国保財政の平準化と安定化は不可欠と考えるが、現時点で法制化の見通しは立っていない。引き続き国へ要望していく。②ただちに税率改定の必要はないが、流動的な医療費の動向や基金残高から判断は許さない状況。長期的な見通しは立てにくい。まずは医



国民年金係窓口

療費削減に取り組む。③「特定健診受診の個別勧奨」「健康づくり運動」「シエネリック医薬品の差額通知」「マッサージュ等の保険利用の啓発」。特定健診受診率の向上のように成果として表れたものもあるが、具体的削減効果額の検証が課題。④来年度より「国保データベースシステム」が稼働し個々の健康状態や課題分析が可能となる。

# 宮津市観光親善大使の

## 任命について！

安寿会 安達 稔

**【答弁要旨】** 来年の市制60周年で大使制度等を検討する

**【質問】**「ご当地ソングの女王であり全国の地名を歌い大ヒットされている「水森かおり」さんが当地の「天橋立」という歌を平成17年6月にリリースされた歌って頂いている。今一度「天橋立」の魅力を全国に広く宣伝して頂き高揚を図る為にも観光親善大使設置要項を制定するべきと考えます。又、宮津市の観光を盛り上げようと、本市の住民が作詞・作曲をされ、演歌「宮津ものがたり」と「もう一度丹後へ」の観光イメージソングを、小島布水呼さんが平成25年3月にリリースされ、宮津の街を舞台に恋の情景をつづった明るいイメージで宮津を応援していただいております。観光革命の一環としてお二人を観光親善大使に任命にすることについて考えを伺う。

ども含め、宮津天橋立を発信する一つの手段であると認識しており、幅広い分野でご協力いただける「宮津市全体の応援団」という形が有益であるとも思う。平成26年度の市制60周年が一つのタイミングと考えており、大使制度や応援団の創設、お二人の歌手も含めて検討していきたいと考えている。



宮津ものがたり

# 市役所改革について

公明党 松浦登美義

**【答弁要旨】** 職員から率先して挨拶に努めている

**【質問】** 大白蓮華の会社インタビュー記事に、支店立て直しに「凡事徹底」といって、明るいあいさつや整理整頓、約束を守るといった、当たり前前ことを励行されていた。宮津再生を実現していくためには市役所が変わる。あいさつ運動、報・連・相の徹底を問う。

**【答弁】** 職員から率先して挨拶、声掛けに努めている。今後も、接遇改善等を行うとともに、明るく温かい市役所へと更なるイメージアップを図る。

## 新電力の公共施設導入検討を

**【質問】** 新電力（特定規模電気事業者）とは、一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者であり、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故によりクローズアップされてきた。環境面を重視した新電力の契約を行っている自治体もある。本市の公共施設等の導入による電気料金の削減や、新電力に売電する取り組みによる再生可能エネルギーの推進を問う。

**【答弁】** 関西電力の、値上げに伴う年

間影響額の試算結果では、市施設全体で2千万円を超えて影響が出る。このため、照明器具のLED化を進めるなど節電に努め、提言の新電力の活用においては、高圧電力を必要とする需要家において電気料金の削減が期待でき、電力の年間使用量や負荷率（使用率）など前提条件が必要となることから、個々の施設ごとに検討する。また、新電力への売電についても、公共施設の屋根を活用する形での太陽光発電や小規模発電所の誘致を図っていく。



宮津市役所

**【その他の質問】**  
・宮津再生について

# 消費税の増税で

## 国保は安くなるのか

日本共産党 長林 三代

### 答弁要旨

増税だけでは、国保の安定的運営はできない

### 質問

「社会保障制度改革推進法」という法律をご存じだろうか。民自公の二党合意によって強行可決され、子育てや医療、介護、年金、障害者総合支援法、消費税増税法等、社会保障と税の一体改革に係る法案の一つだが、その危険性は知られていない。社会保障にかかる費用は、消費税及び地方消費税の収入を充てることとなっている。本当にこれで賄えるのか、伺う。

国保では「国民皆保険の堅持」という言葉が消え、「いのちの沙汰も金次第」がピッタリの法律となっている。国や府は国保の広域化を推進しているが、本市の広域化への参加の判断基準は何か、伺う。

消費増税分は「子育て、医療介護、年金等」、国保以外の社会保障分野にも充てることになり、それだけで安定的に国保事業を運営することは極めて困難。また、国保広域化への参加は、財政規模が脆弱な本市では

メリットは大きいと考える。

### 質問

自治体のメリットではなく、国保税が高くて負担の大きい市民にとってのメリットを伺っている。広域になれば国保は安くなるのか。

広域化参加は、まず市民の負担がどうなるか考えて判断する。本市の国保税は府内平均を上回っているため、広域化になれば瞬間には下がると想定されるが、長期的にはわからない。

### 質問

地方自治体の役割として住民を守るべきだ。

### 答弁

国・府に要望しつつ。



### その他の質問

・風疹予防のためワクチン接種への助成を

## 議 会 報 告 会

### 今回の開催日・場所・参加人数

開催日	場 所	参加人数
4月22日	(2班) 栗田区民センター	13人
	(3班) 養老地区公民館	26人
4月23日	(1班) 柳縄手公民館	12人
	(2班) 上宮津地区公民館	11人
	(3班) 日ヶ谷地区公民館	9人
4月24日	(3班) 滝馬公民館	12人
	(1班) 世屋地区公民館	5人
4月25日	(1班) 浪花会館	18人

### 班編成

班	班 員			
1班	◎坂根 栄六 木内 利明	○北仲 篤 長林 三代	嶋田 茂雄 松浦登美義	
2班	◎松本 隆 松原 護	○河原 末彦 徳本 良孝	橋本 俊次	
3班	◎小林 宣明 安達 稔	○宇都宮和子 谷口 喜弘	小田 彰彦	

◎班長 ○副班長



宮津市議会は、議会活動について報告するとともに、市民のみなさんとの意見交換により、議会機能の強化と活性化を図ることを目的に、4月下旬に自治連等を単位に議会報告会を開催し、8地区で106人の参加がありました。

平成25年3月議会の審議内容と議決状況の報告、議会に対する質問や意見、また有害鳥獣対策など地域が抱える問題、宮津マルシェ推進事業など市が行う事業について、ご意見やご要望がありました。ご質問等に対する回答は、自治連を通して、各地区公民館に文書配布しますので、ご覧ください。市役所市民ホール、情報公開コーナー（別館1F）で閲覧していただくこともできます。

次回の報告会は、10月下旬頃を予定しています。この会場でも参加できますので、ぜひ参加ください。

# 平成 24 年度 政務調査費収支報告

政務調査費とは、自治体が議員の調査研究に必要な経費の一部として、条例により交付できる経費です。本市の場合、議員 1 人当たり年額 12 万円を議会会派に交付しています。なお、残額は宮津市に返還します。

	蒼風会 4~6月(6人) 7月~(4人)	市民連合 クラブ (3人)	安寿会 7月~(2人)	公明党 (2人)	日本共産党 宮津市議 会議員団 (2人)	宮津新 生会 (2人)	無会派 (1人)	計 (16人)
所属議員名	橋本俊次 小田彰彦 嶋田茂雄 小林宣明	木内利明 河原末彦 北仲篤	安達稔 松原護	松本隆 松浦登美義	宇都宮和子 長林三代	徳本良孝 谷口喜弘	坂根栄六	
政務調査費交付額	540,000	360,000	180,000	240,000	240,000	240,000	120,000	1,920,000
支出額	482,950	189,760	175,580	130,760	374,084	231,230	127,150	1,711,514
返還金	57,050	170,240	4,420	109,240	0	8,770	0	208,486
支出 内 訳	研究研修費	0	0	0	0	0	67,200	67,200
	調査旅費	339,100	179,760	175,580	112,805	0	172,230	1,039,425
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	10,000	0	17,955	212,298	0	240,253
	広報費	143,850	0	0	0	161,786	0	305,636
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	59,000	59,000
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	

※安達議員、松原議員は 7 月 1 日付けで蒼風会を脱会し、安寿会を結成。

## 主な支出内容

会派	支出内容
蒼風会	・調査旅費 高知県須崎市 高知県香南市 愛媛県宇和島市 ・広報費 まち全域がサービスエリア構想推進事業 総合福祉ゾーンはまゆうの里 交通拠点施設整備事業 会派報告書印刷代
市民連合 クラブ	・調査旅費 山口県長門市 福岡県久留米市 福岡県大野城市 ・資料購入費 仙崎ブランド構築事業 B級グルメの聖地 久留米事業 ワンストップ化による総合窓口 議会運営実務提要追録代
安寿会	・調査旅費 鹿児島県阿久根市 熊本県宇土市 福岡県古賀市 財政運営に係る基本的な方針と基金運用等について 防災行政無線運用及び避難計画について 商工会の活動中、独自の取組み、市との協働の取組みについて ホームページ整備方針や市民の意見について、電子申請について
公明党	・調査旅費 熊本県合志市 熊本県阿蘇市 ・資料購入費 特産品地域ブランドの推進について 門前町商店街の取組みについて 住宅地図代
日本共産党宮津 市議会議員団	・資料購入費 ・広報費 法規資料ほか 議会報告折込印刷
宮津新生会	・調査旅費 鹿児島県阿久根市 熊本県宇土市 福岡県古賀市 ・事務所費 財政運営に係る基本的な方針と基金運用等について 防災行政無線運用及び避難計画について 商工会の活動中、独自の取組み、市との協働の取組みについて ホームページ整備方針や市民の意見について、電子申請について デジタルカメラ等備品購入費
無会派	・研究研修費 大阪市 大阪市 ・調査旅費 東京都杉並区 山梨県早川町 山梨県北杜市 高齢社会対策と地方議員の役割セミナー 地方議会議員のための地方議会の制度と運営の実務 少人数教育・探求型学習プログラム等について 山村留学・生きる力を育む遊学制度について 早川北小学校のオープンスペース教室について 八ヶ岳サドベリースクールの教育について

※収支報告書（視察報告書含む）は、情報公開コーナー（別館 1F）、議会図書室で閲覧いただけます。

## 議長交際費

議長交際費とは、議長が市議会を代表して外部と交際する場合に支出するものです。平成 24 年度の執行状況は下記のとおりです。

区分	件数	支出額	主な支出内容
祝金	3	11,722 円	大江山スキー場開き、海開きなど
会費	13	71,000 円	宮津ニュージージーランド協会総会懇親会会費 (社) 天橋立観光協会総会懇親会会費など
激励	1	15,320 円	京都府消防操法大会出場激励品
計	17	98,042 円	

詳しくは、ホームページをご覧ください。

## 表紙写真を募集します！

宮津市議会では、議会だよりを年4回(5月、8月、11月、2月)発行しています。

本紙の表紙に掲載する写真を募集します。

○募集内容 地域の取り組みや行事など、地域の魅力を紹介できる写真。

○応募規定 応募者が撮影し、被写体の承諾を得たもの。

○規格など 現像写真またはデジタルデータ。

○紙面への掲載 写真は白黒で、タイトルと応募者の氏名を掲載します。

○応募方法 ①タイトル②住所③氏名④電話番号を明記の上、議会事務局までご応募ください。

○選考 議会情報化等特別委員会で行います。

○注意事項 応募写真は原則返却しません。

○応募・問合せ先 〒626-8501(住所記入不要)

宮津市議会事務局

TEL 0772-45-1639(直通)

e-mail:gikai@city.miyazu.kyoto.jp

## 9月定例会の予定 (会期8月28日～9月25日)

8月23日(金) 請願・陳情等締切(正午まで)

26日(月) 議会運営委員会

28日(水) 本会議(提案理由説明等)

9月 4日(水) 本会議(一般質問)

5日(木) 本会議(一般質問)

6日(金) 本会議(質疑～委員会付託)

9日(月) 常任委員会(条例改正、補正等)

10日(火) 常任委員会(予備日)

18日(水) 議会運営委員会

20日(金) 本会議(委員長報告～採決、決算提案理由説明)

25日(水) 本会議(決算質疑～委員会付託)

※開議時刻10:00

- ・この日程は予定であり、予告なく変更となる場合があります。
- ・一般質問の質問者及び質問事項等については、一般質問日の約1週間前に市議会ホームページで確認することができます。また、新聞折込でもお知らせします。
- ・録画映像や本会議の会議録についても、インターネットで閲覧できます。ぜひご覧ください。

インターネット検索

宮津市議会

検索

クリック

## あ と が き

今年は雨が少なく渇水対策の必要性が叫ばれた矢先、恵みの雨が降り農家は一息つくことができました。また、梅雨に入ったかと思えば、平年より2週間も早く梅雨明け宣言が出され暑い夏が訪れました。

宮津市では、この夏の節電目標を、昨年同様15%に設定し、「エアコンは28℃を目安に設定することと扇風機の活用」そして、「電気使用量の高まる午後の時間帯を利用したクールスポットの活用」など、市民に無理のない範囲での節電を呼びかけています。

この議会だよりが手に届く頃は、まさに一年中で一番暑い時期を迎えています。昨年「熱中症」で救急搬送された高齢者のうち半数が、部屋にエアコンがあるのに使っていなかったことが報告されています。「熱中症」にならないように、エアコンをうまく活用して、無理のない節電を行い、この夏を乗り切りたいものです。